



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 エスケー化研株式会社
 コード番号 4628 URL <http://www.sk-kaken.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 実広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	69,712	0.6	8,952	9.3	9,676	8.4	6,664	9.3
29年3月期第3四半期	70,104	0.4	9,870	6.4	10,564	14.0	7,348	18.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 6,562百万円 (31.6%) 29年3月期第3四半期 4,986百万円 (9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	494.20	
29年3月期第3四半期	544.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	122,340	102,262	83.6	7,585.10
29年3月期	118,616	96,690	81.5	7,166.06

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 102,262百万円 29年3月期 96,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		65.00	65.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	3.5	12,600	0.5	13,300	3.8	9,400	4.8	697.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	15,673,885 株	29年3月期	15,673,885 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,191,792 株	29年3月期	2,181,114 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	13,485,651 株	29年3月期3Q	13,501,932 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国およびEU諸国の今後の政治・経済動向や中国・新興国経済の成長鈍化懸念、中東・東アジアの地政学的リスクなど、世界経済全体で多くの不安要素を抱えており、その先行きは依然として不透明な状況であります。

建築塗料業界におきましては、首都圏を中心とした大規模再開発や五輪関係の需要が進行しております。一方、建築現場の慢性的な労働者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけでなく膨大な住宅やその他のストックを抱えるリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や環境問題に対応した省エネタイプの遮熱材、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は、697億12百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。利益面におきましては、人員の増強に伴う人件費の増加等により、営業利益は、89億52百万円（同9.3%減）、経常利益は、為替変動の影響等により96億76百万円（同8.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、66億64百万円（同9.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。また、リニューアル市場においては超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行いました。売上高は636億13百万円

（同1.2%減）と前四半期連結累計期間に比べて7億57百万円の減収となりました。セグメント利益は99億82百万円（同8.2%減）と前四半期連結累計期間に比べて8億93百万円の減益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏では再開発事業における受注が拡大しており、売上高は46億97百万円（同11.3%増）と前四半期連結累計期間に比べて4億78百万円の増収となりました。セグメント利益は5億32百万円（同13.8%増）と前四半期連結累計期間に比べて64百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は14億円（同7.5%減）と前四半期連結累計期間に比べて1億13百万円の減収となりました。セグメント利益は1億49百万円（同38.0%減）と前四半期連結累計期間に比べて91百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて37億23百万円増加し、1,223億40百万円（前連結会計年度末比3.1%増）となりました。

増加した主なものは、現金及び預金46億70百万円（同6.6%増）、受取手形及び売掛金4億48百万円（同2.2%増）であります。減少した主なものは、投資その他の資産のその他12億69百万円（同36.2%減）であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて18億49百万円減少し、200億77百万円（前連結会計年度末比8.4%減）となりました。

減少した主なものは、未払法人税等12億33百万円（同54.9%減）、賞与引当金5億3百万円（同32.6%減）、支払手形及び買掛金2億48百万円（同4.2%減）であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて55億72百万円増加し、1,022億62百万円（前連結会計年度末比5.8%増）となりました。

増加した主なものは、四半期純利益を含む利益剰余金57億87百万円（同5.8%増）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、平成29年5月11日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,794	75,464
受取手形及び売掛金	20,213	20,661
商品及び製品	2,199	2,027
仕掛品	1,027	1,009
未成工事支出金	177	378
原材料及び貯蔵品	4,058	4,230
繰延税金資産	730	463
その他	451	453
貸倒引当金	△62	△53
流動資産合計	99,590	104,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,516	4,446
機械装置及び運搬具(純額)	721	625
土地	8,340	8,358
建設仮勘定	107	249
その他(純額)	81	75
有形固定資産合計	13,767	13,755
無形固定資産	1,092	1,076
投資その他の資産		
投資有価証券	14	16
繰延税金資産	256	253
退職給付に係る資産	538	557
その他	3,506	2,237
貸倒引当金	△150	△191
投資その他の資産合計	4,165	2,873
固定資産合計	19,025	17,705
資産合計	118,616	122,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,983	5,734
短期借入金	3,030	3,030
未払金	5,338	5,186
未払法人税等	2,245	1,012
賞与引当金	1,545	1,042
役員賞与引当金	88	66
製品保証引当金	49	49
その他	1,237	1,477
流動負債合計	19,519	17,599
固定負債		
繰延税金負債	41	42
役員退職慰労引当金	1,109	1,126
退職給付に係る負債	71	61
その他	1,185	1,247
固定負債合計	2,407	2,477
負債合計	21,926	20,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	99,333	105,120
自己株式	△9,399	△9,512
株主資本合計	95,732	101,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	3
為替換算調整勘定	1,016	896
退職給付に係る調整累計額	△60	△44
その他の包括利益累計額合計	957	855
純資産合計	96,690	102,262
負債純資産合計	118,616	122,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	70,104	69,712
売上原価	47,823	47,988
売上総利益	22,280	21,723
販売費及び一般管理費	12,409	12,771
営業利益	9,870	8,952
営業外収益		
受取利息	223	188
受取配当金	0	0
仕入割引	53	53
為替差益	472	435
雑収入	85	59
営業外収益合計	835	738
営業外費用		
支払利息	8	7
売上割引	0	1
減損損失	130	—
雑損失	1	5
営業外費用合計	142	15
経常利益	10,564	9,676
税金等調整前四半期純利益	10,564	9,676
法人税、住民税及び事業税	2,955	2,749
法人税等調整額	260	262
法人税等合計	3,215	3,011
四半期純利益	7,348	6,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,348	6,664

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	7,348	6,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	△2,385	△119
退職給付に係る調整額	21	16
その他の包括利益合計	△2,361	△101
四半期包括利益	4,986	6,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,986	6,562
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,000株及び当第3四半期連結累計期間において単元未満株式678株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1億13百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が95億12百万円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	64,370	4,219	68,589	1,514	70,104	—	70,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	2	3	△3	—
計	64,371	4,219	68,590	1,516	70,107	△3	70,104
セグメント利益	10,876	467	11,343	240	11,584	△1,713	9,870

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△17億15百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「建築仕上塗材」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1億30百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	63,613	4,697	68,311	1,400	69,712	—	69,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	2	△2	—
計	63,614	4,697	68,312	1,402	69,714	△2	69,712
セグメント利益	9,982	532	10,515	149	10,664	△1,712	8,952

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△17億13百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。